

最近の経済動向

令和元年8月号

北海道の景気動向(令和元年6月の経済指標を中心として)

緩やかに持ち直している

■ 鉱工業生産動向

P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
弱めの動きとなっている

■ 需要動向(消費・投資)

P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
P 3~4 専門量販店販売額、新車登録台数)
回復している

P 4 住宅建設(新設住宅着工戸数)
一部に持ち直しの動きがみられる

P 4~5 公共工事(公共工事請負金額)
増加している

P 5 観光(来道者数)
改善が進んでいる

P 6 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■ 企業倒産

P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数は減少し、負債総額は増加した

■ 雇用動向

P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P 8 企業経営者意識調査
前期から横ばい

■ 企業情報

P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

P 10 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

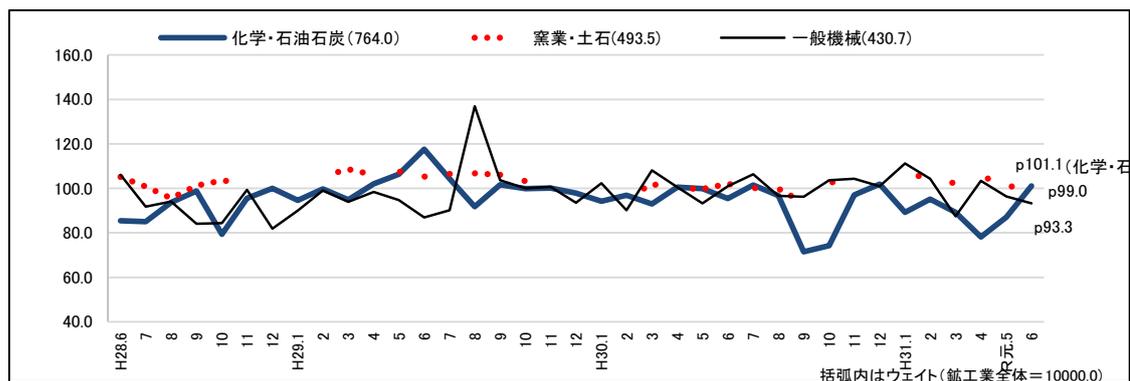
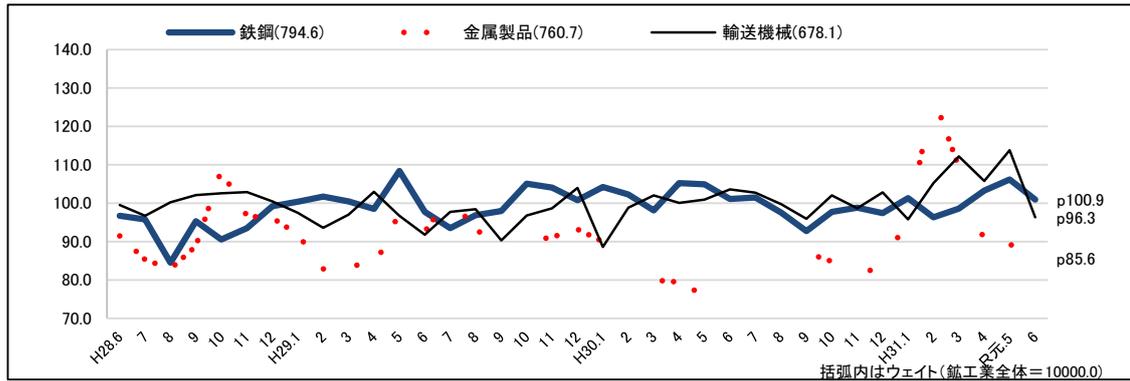
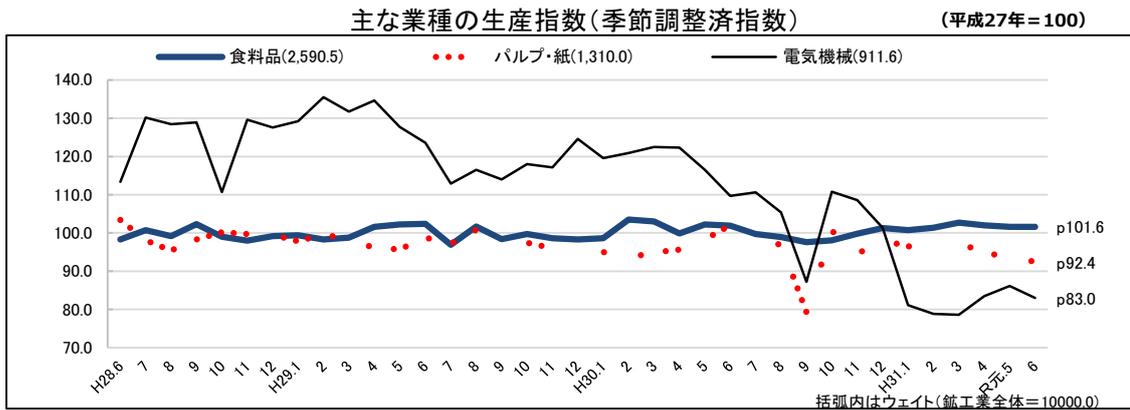
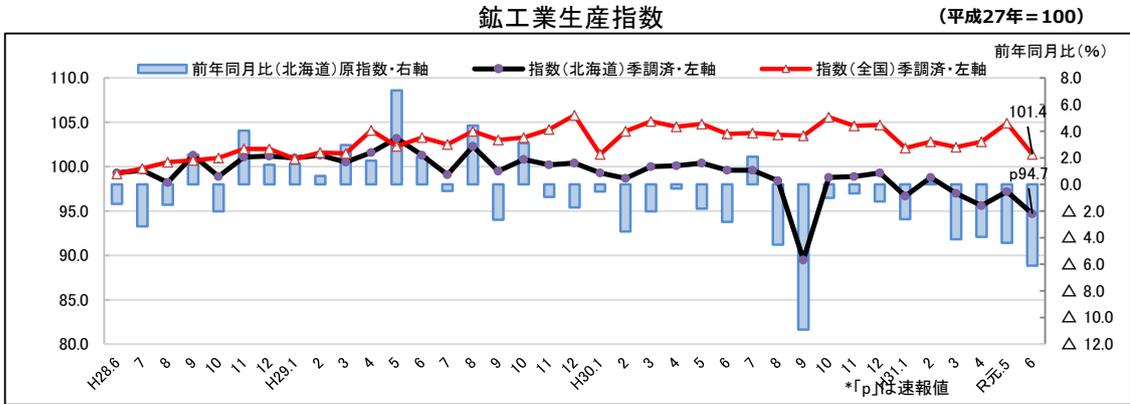
P 16 北海道の景気動向指数

北海道経済部経済企画局経済企画課

■生産活動～弱めの動きとなっている

鉱工業生産指数（6月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、94.7で前月比△2.6%(2か月ぶりの低下)であり、原指数による前年同月比は、△6.1%(4か月連続の低下)となった。業種別にみると、輸送機械工業等11業種が前月比低下、化学・石油石炭製品工業等3業種が前月比上昇となった。



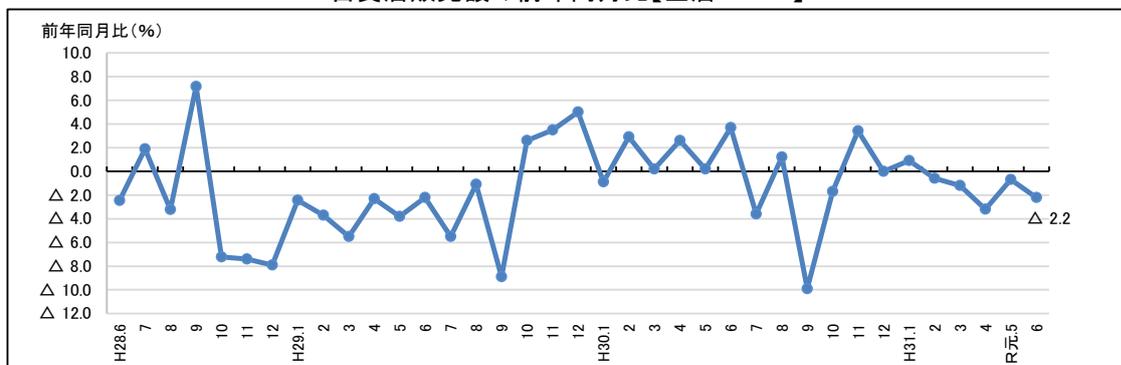
(資料: 北海道経済産業局)

■個人消費～回復している

百貨店販売額(全店ベース)(6月)

百貨店販売額は、155億円で前年同月比2.2%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。

百貨店販売額の前年同月比【全店ベース】

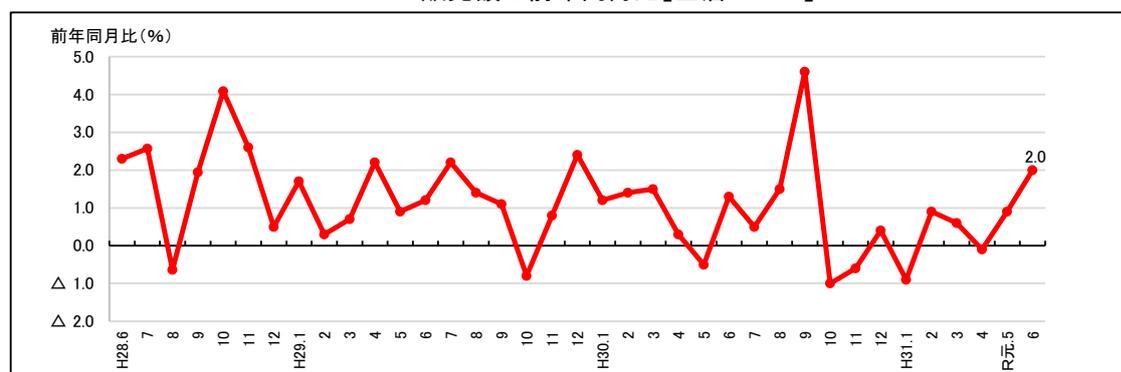


(資料：北海道経済産業局)

スーパー販売額(全店ベース)(6月)

スーパー販売額は、627億円で前年同月比2.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

スーパー販売額の前年同月比【全店ベース】

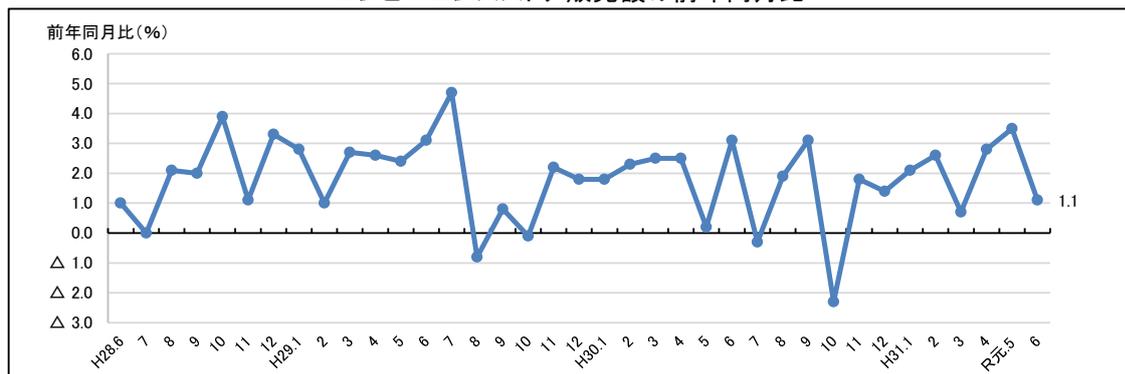


(資料：経済産業省)

コンビニエンスストア販売額(6月)

コンビニエンスストア販売額は、488億円で前年同月比1.1%の増加となり、8か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額の前年同月比

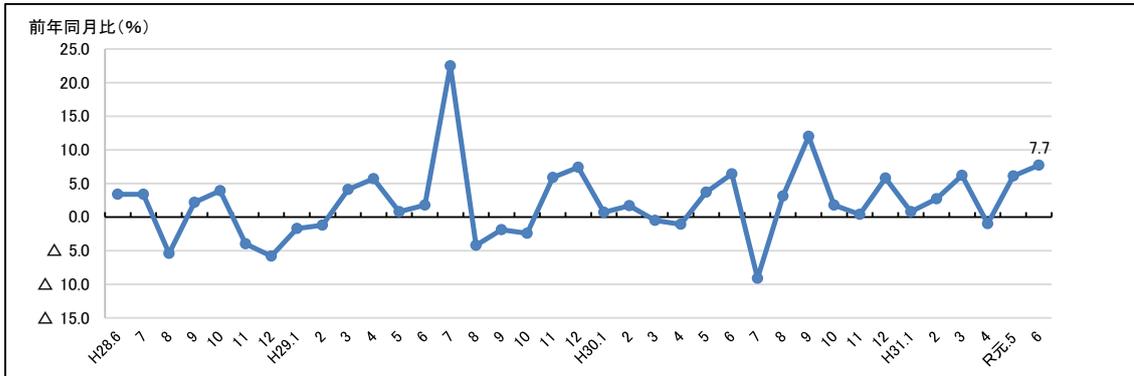


(資料：経済産業省)

家電大型専門店(6月)

家電大型専門店販売額は、116億円で前年同月比7.7%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額の前年同月比

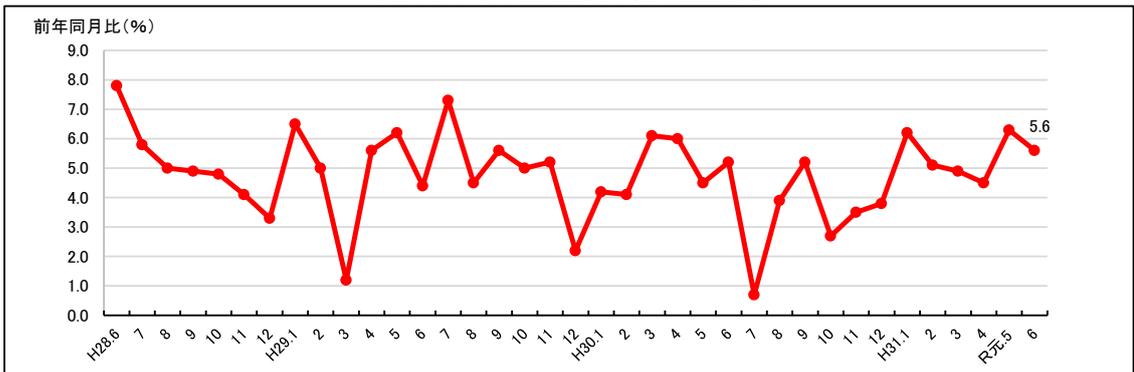


(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額(6月)

ドラッグストア販売額は、236億円で前年同月比5.6%の増加となり、50か月連続で前年を上回った。

ドラッグストア販売額の前年同月比

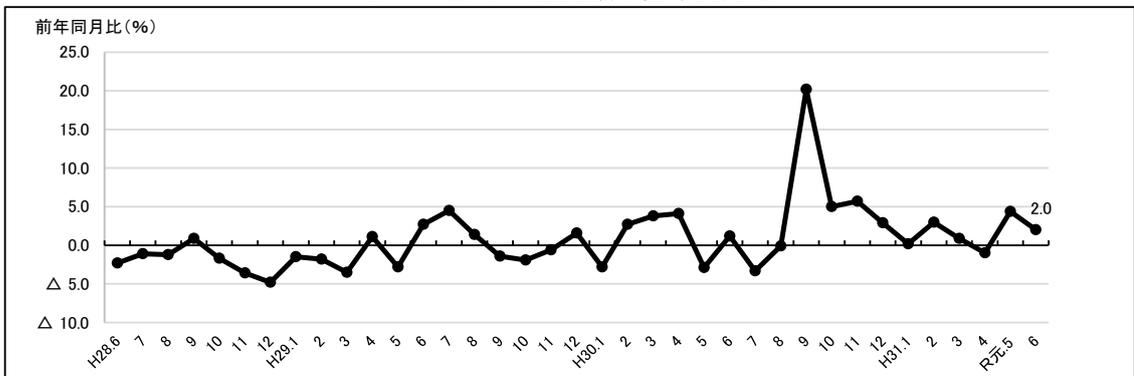


(資料：経済産業省)

ホームセンター(6月)

ホームセンター販売額は117億円で前年同月比2.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

ホームセンター販売額の前年同月比

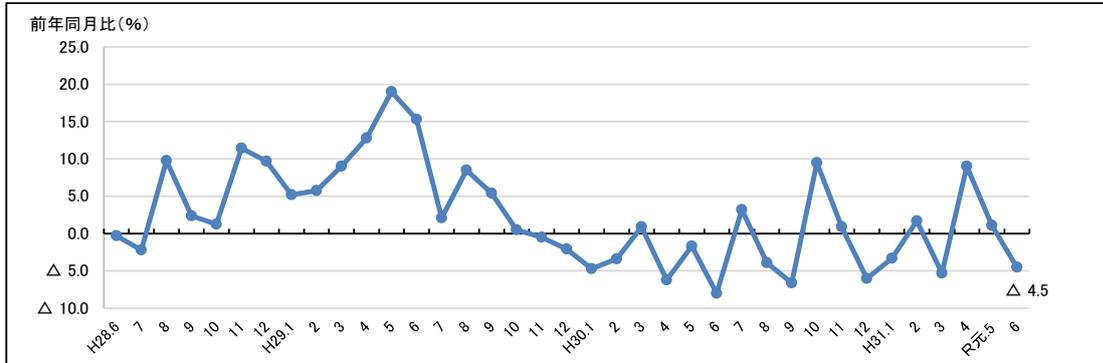


(資料：経済産業省)

新車登録台数（6月）

新車登録台数は、16,938台で前年同月比4.5%の減少となり、3カ月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、6,034台で同4.9%の増加、小型車は、6,113台で同8.5%の減少、軽自動車は、4,791台で同9.5%の減少となった。

新車販売台数の前年同月比



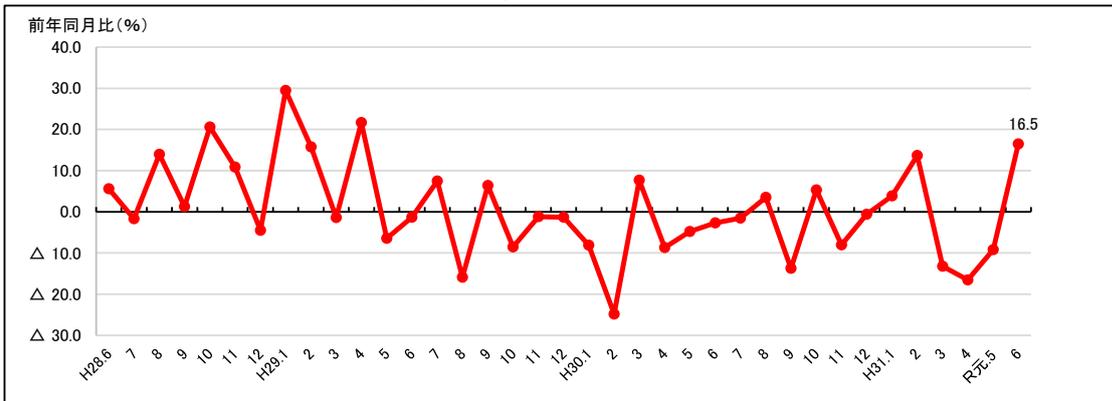
((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

住宅建設～一部に持ち直しの動きがみられる

新設住宅着工戸数（6月）

住宅着工戸数は、3,865戸で前年同月比16.5%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家は、1,360戸で同8.0%の増加、貸家は、1,708戸で同6.2%の減少、分譲住宅は、744戸で同230.7%の増加となった。

新設住宅着工数の前年同月比



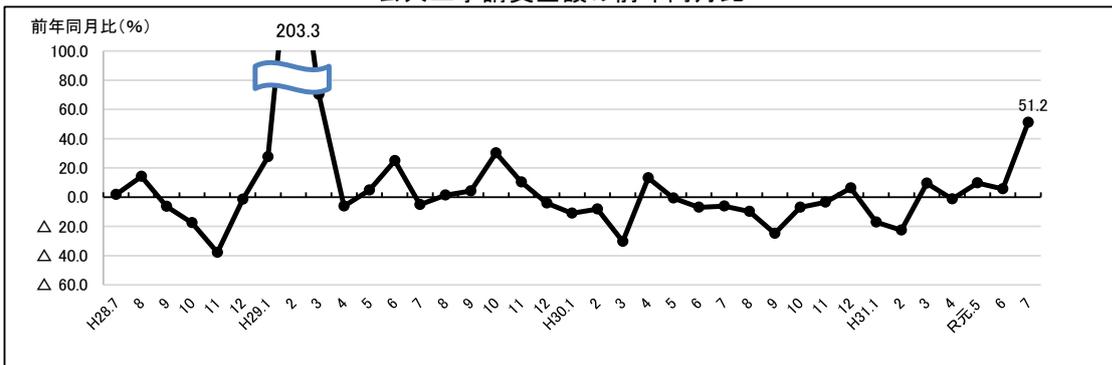
(資料：国土交通省)

公共工事～増加している

公共工事請負金額（7月）

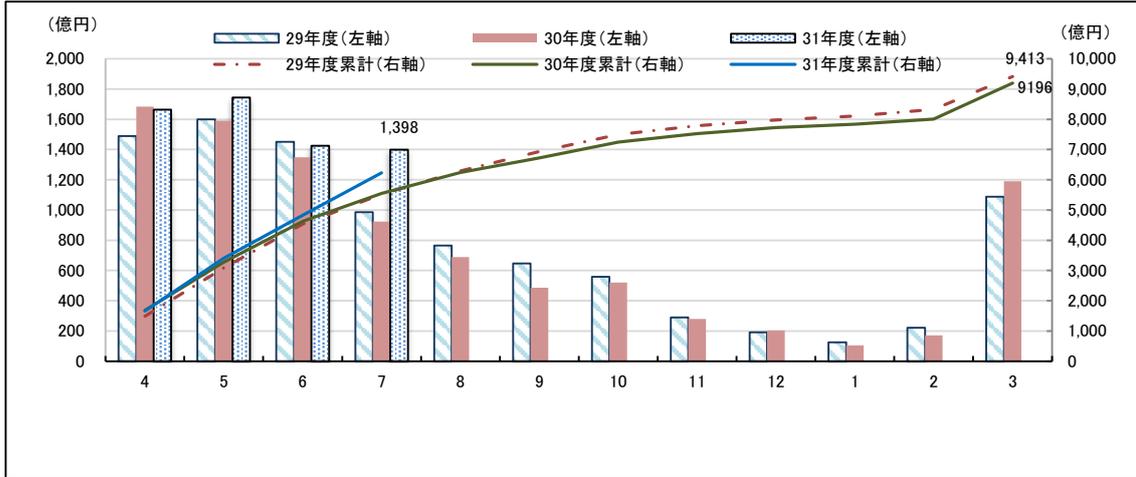
請負金額は、1,398億円の前年同月比51.2%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

公共工事請負金額の前年同月比



(資料：(株)北海道建設業信用保証)

公共工事請負金額

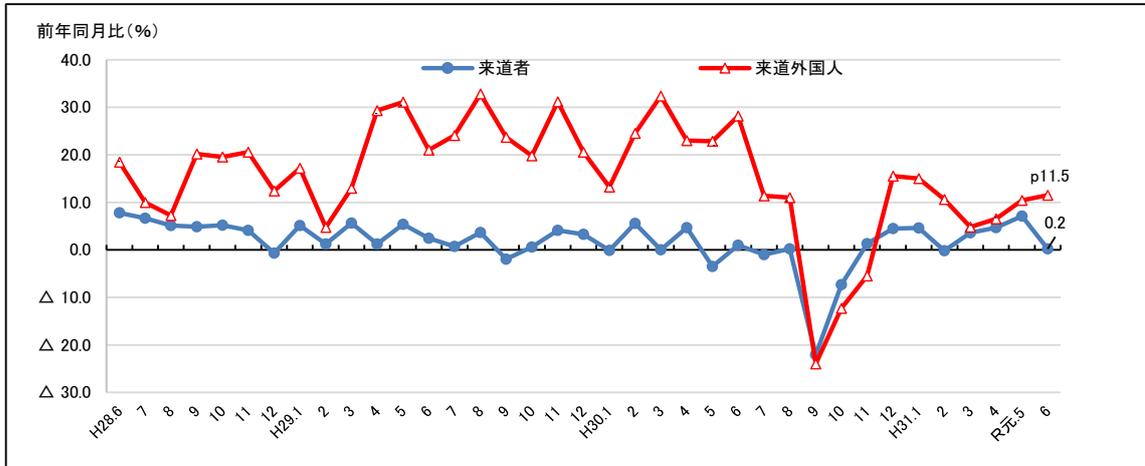


■ 観光～改善が進んでいる

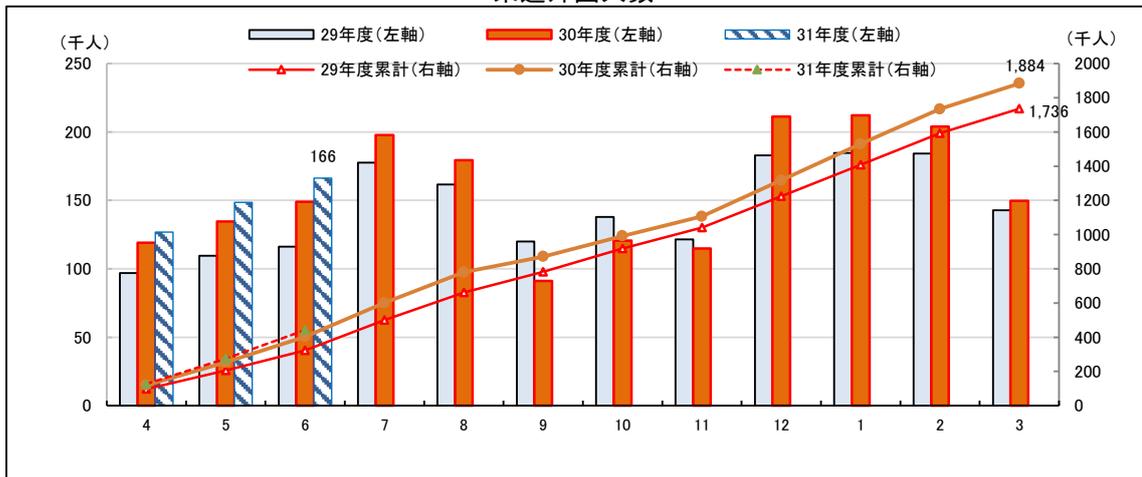
来道者数(6月)

来道者数は、121万人で前年同月比0.2%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、16万6千人で同11.5%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。

来道者数及び来道外国人の前年同月比



来道外国人数



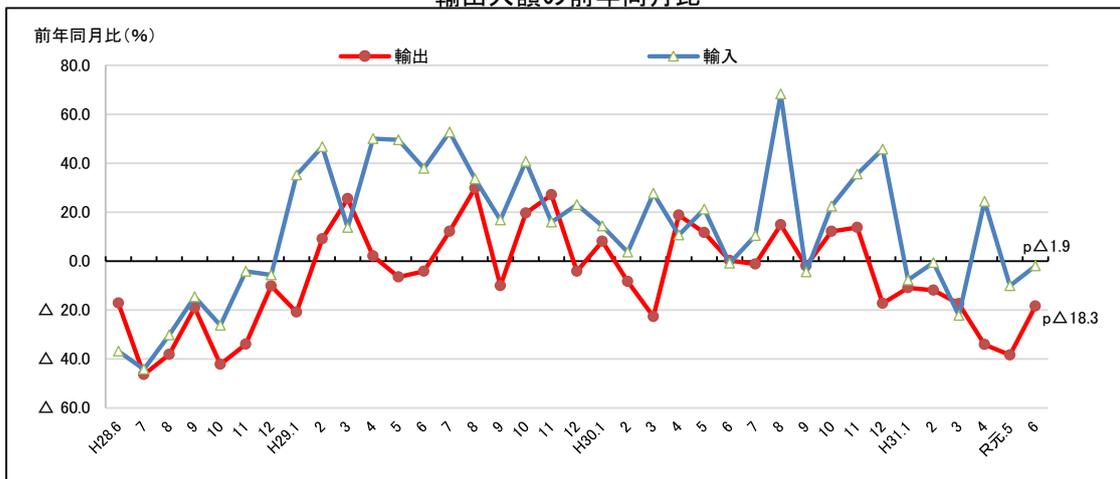
■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

輸出入額（6月）

輸出額は、244億円で前年同月比18.3%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。品目別にみると、鉄鋼、鉱物性タール・粗製薬品、有機化合物などが減少した。

輸入額は、798億円で同1.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。品目別にみると、石油製品、肥料、木材などが減少した。

輸出入額の前年同月比



(資料: 函館税関)

■企業倒産～倒産件数は減少し、負債総額は増加した

企業倒産（7月）

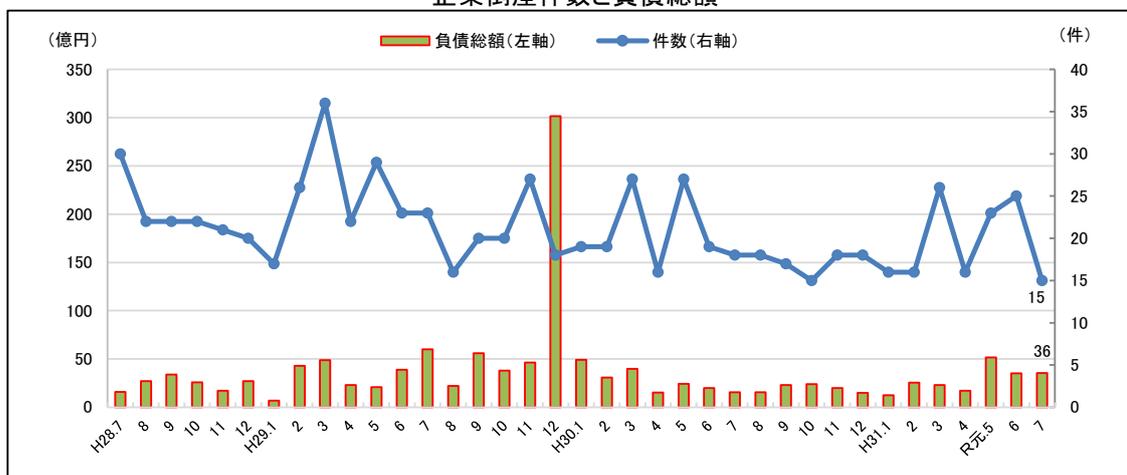
企業倒産件数は、15件で前年同月比16.7%の減少となり、負債総額は、35億58百万円で同128.8%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

原因別でみると、販売不振が13件(構成比 86.7%)と半数以上を占めた。

業種別でみると、サービス業が7件(同46.7%)で最多となり、小売業が3件(同20.0%)、建設業、卸売業が各2件(同13.3%)と続いた。

企業倒産件数と負債総額

(負債額1,000万以上の企業倒産)



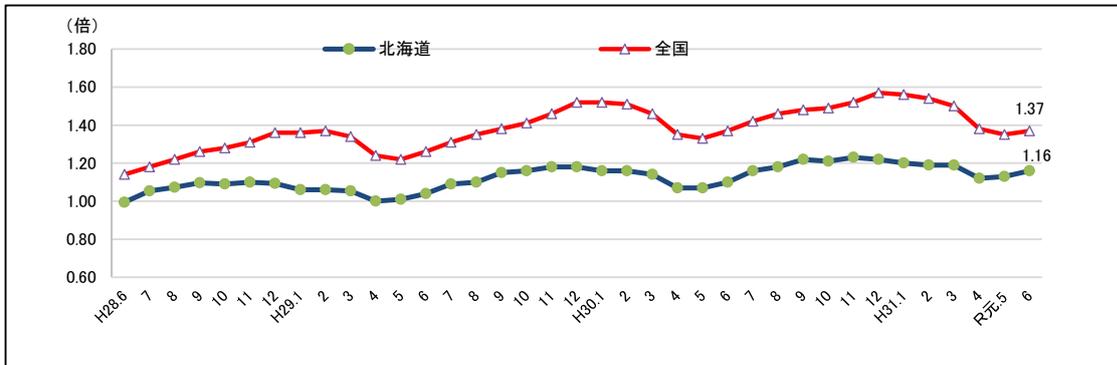
(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（6月）

月間有効求人数は、9万4,086人で前年同月比1.8%の増加となり、9か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万1,227人で同3.3%の減少となり、92か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.16倍で前年同月差で0.06ポイントの増加となり、113か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)



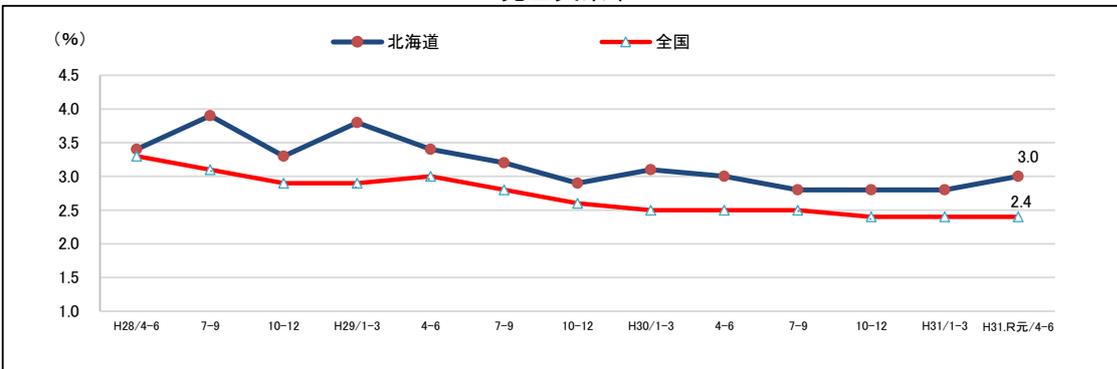
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(31年4月～元年6月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、同数となっている。
 完全失業率は、3.0%で前年同期と同率となっている。

完全失業率



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

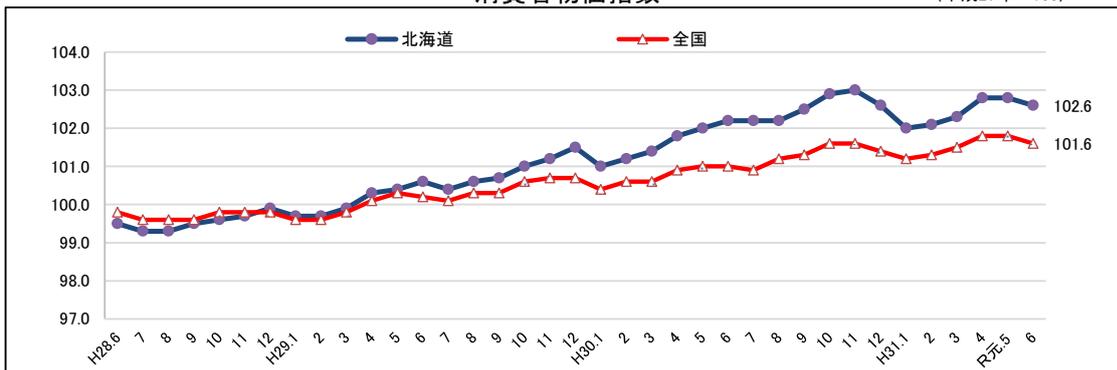
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(6月)

消費者物価指数は、102.6で前年同月比0.4%の上昇となり、31か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数

(平成27年=100)



(資料:総務省)

■企業の業況感～前期から横ばい

企業経営者意識調査（31年4月～元年6月期）

今期の業況感BSIは、 $\Delta 18$ で前期から横ばい。

- ・業種別では、建設業、運輸業で上昇、製造業、卸売・小売業、サービス業で下降した。
- ・地域別では、道央、オホーツク、十勝で上昇、道南、道北、釧路・根室で下降した。

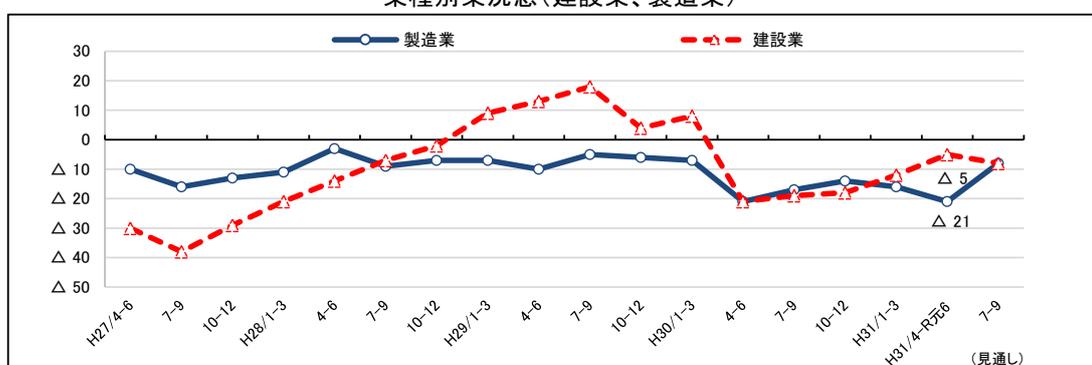
企業の業況感の推移



(見通し)

(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(見通し)

(資料:北海道)

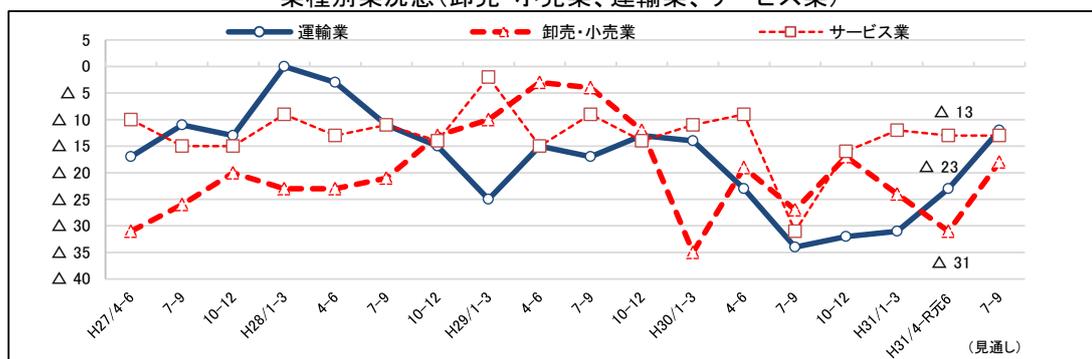
【建設業】 7ポイント上昇 (前期 $\Delta 12$ → 今期 $\Delta 5$)

- ・舗装工事業でプラスに転換、一般土木建築工事業や塗装工事業でマイナス幅が縮小

【製造業】 5ポイント下降 (前期 $\Delta 16$ → 今期 $\Delta 21$)

- ・プラスチック製品製造業や汎用機械器具製造業などでプラス幅が縮小、農業用機械製造業でマイナスに転換、外衣・シャツ製造業や造作材・合板・建築用組立材料製造業でマイナス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(見通し)

(資料:北海道)

【卸売・小売業】 7ポイント下降 (前期 $\Delta 24$ → 今期 $\Delta 31$)

- ・各種商品卸売業でプラス幅が縮小、家具・建具・畳小売業でマイナスに転換、野菜卸売業や建築材料卸売業、百貨店・総合スーパー、菓子・パン小売業でマイナス幅が拡大

【運輸業】 8ポイント上昇 (前期 $\Delta 31$ → 今期 $\Delta 23$)

- ・水運業などでプラス幅が拡大、道路旅客運送業や道路貨物運送業などでマイナス幅が縮小

【サービス業】 1ポイント下降 (前期 $\Delta 12$ → 今期 $\Delta 13$)

- ・ソフトウェア業でプラス幅が縮小、産業用機械器具賃貸業や産業廃棄物処理業でマイナスに転換、広告業や機械等修理業、一般廃棄物処理業でマイナス幅が拡大
- ・測量業や警備業でプラス幅が拡大、食堂・レストランでプラスに転換、通信業や持ち帰り・配達飲食サービス業などでマイナス幅が縮小

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【セールが低調、インバウンド減少の影響が出始める】

7月は夏のセールがあったものの衣類の動きが低調で、全般的にも振るわなかった。下旬に暑くなりすぎて、客足に影響した面もある。このため今月を含む半年間の売上は、前年並をなんとか維持するにとどまっている。

インバウンドについて、7月は前年実績を上回ったものの中国人客の客数、売上とも減少傾向にあり、特に化粧品の動きが落ちてきている。8月に入ってから、さらにインバウンド全体の売上が減少傾向にある。

【消費税増税に向けた動きはまだ見られず】

10月の消費税増税に向けた動きはまだ見られない。前回の増税では、直前に駆け込みと見られる動きがあったため、今回も同様の動きを期待。

◆スーパー（道央地域）

【レジャーの狭間は節約】

今年の7月は日曜日が前年より1日少ないが、それ以上に厳しい売上の状況と受け止めている。夏休みやお盆でのレジャー支出を見越して、日常の食品は必要な分だけ買うという動きがみられる。5月の大型連休後の節約志向も続いているかもしれない。また、消費税増税についてマスコミ等で報道される機会が増えているため、消費者の財布のひもがなお固くなっている印象がある。

【いつもよりひと品少なく】

全体として単価があまり変わらない中、まんべんなく売上点数が落ちているので、いつも買う商品をひと品減らしている動きと思われる。他方、夏のギフト商品は好調に推移したほか、総菜などの単身や二人世帯向けの商品が好調ということもあるので、効果的な販促で打開していくことを検討している。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【都市部で堅調な動きが続く】

7月は、前半は天候が悪く客足が鈍かったが、後半は、気温が高く推移し客数が回復・増加した。食品や雑貨、煙草は好調に推移した一方、アイスやビール、冷やし麺等の夏らしい商品の動きは鈍かった。

都市部の売上は堅調であるが、道東・道北は昨年より天候が悪く苦戦した。

◆生コンクリート・砕石製造業（道央地域）

【売上は横ばいながら好調】

ここ数ヶ月の売上は、対前年度比で1割程度の減であるが、昨年と比較すると工事の出足が鈍かったことに起因していると推察される。動きが活発となる夏場以降は挽回できると思われる。最近では販売価格が安定している中、横ばいながら好調に推移している。札幌市内は再開発や地震被害の復旧工事など、この先の需要の見通しも立っているところ。

比較的狭いエリアで各事業者が展開している業態であるが、今後、品不足のためエリア外からの需要にも対応する必要が出てくるかもしれない。砕石はフル稼働で生産しているものの需要に追いつけず、適正な在庫を確保できていない状況が続いている。

【深刻な現場の人手不足】

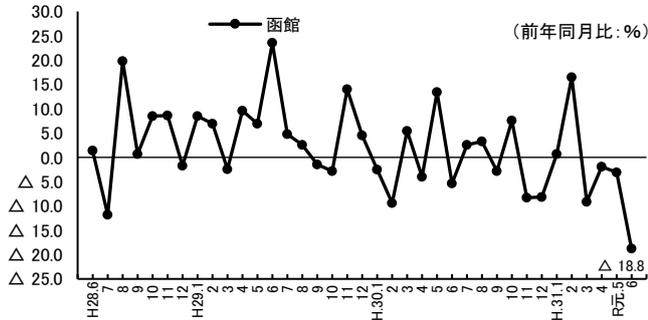
現場の人手不足に苦慮しており、65歳を過ぎたドライバーにも働いてもらうことでなんとか対応しているが、さすがに70歳を過ぎると事故の危険性も高まるので、数年先の雇用状況が非常に不安である。既にあの手この手で若手の採用を進めているが、すぐに辞めてしまう場合もあり、いずれ事業の縮小さえ考えなければならぬかもしれない。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

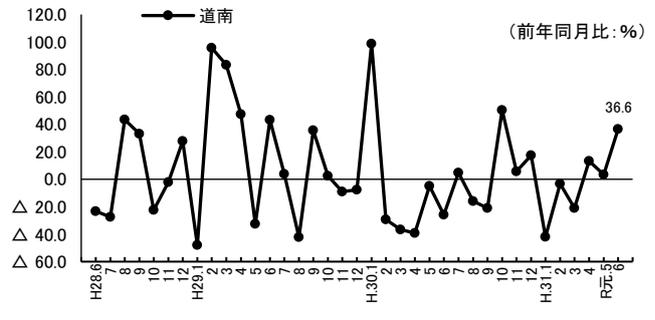
4か月連続で前年を下回った



(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

3か月連続で前年を上回った

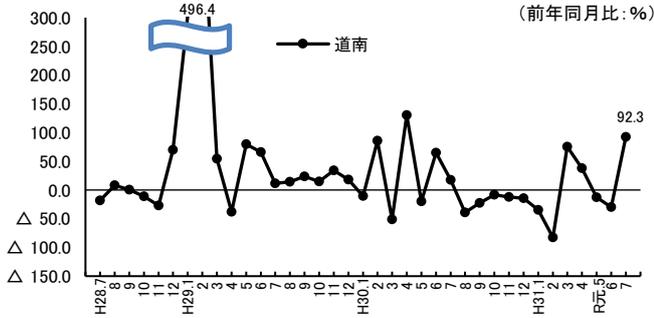


※町村を除く

(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額 (7月)

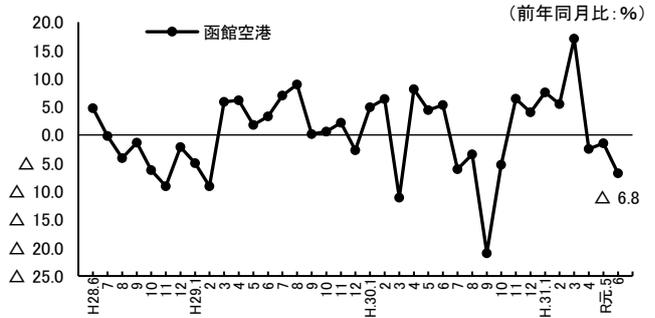
3か月ぶりに前年を上回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

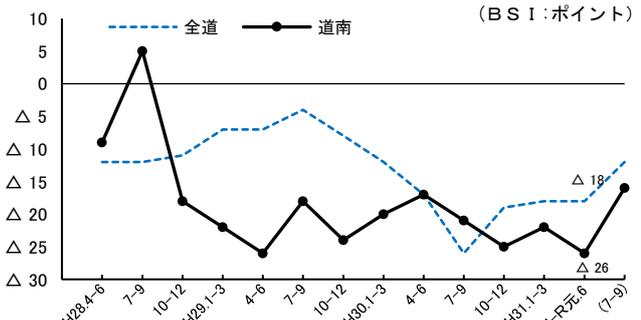
3か月連続で前年を下回った



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した

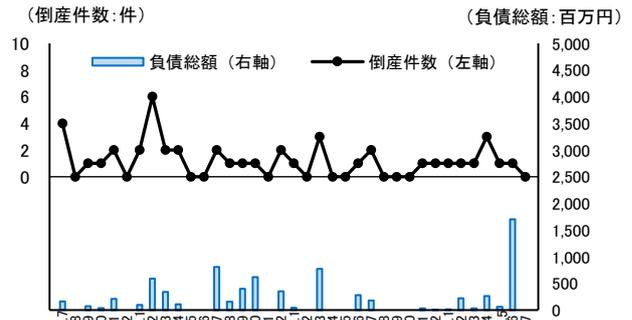


※最新期()は見直し

(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

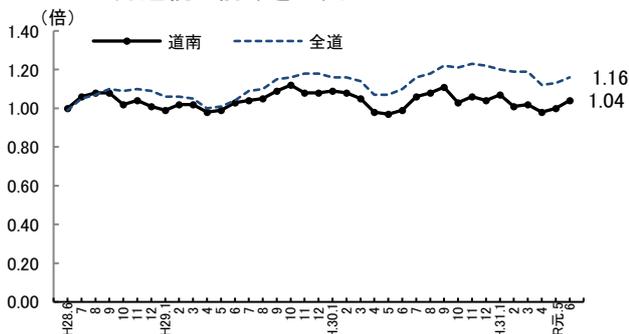
倒産は発生しなかった



(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

◆有効求人倍率(常用) (6月)

2か月連続で前年を上回った

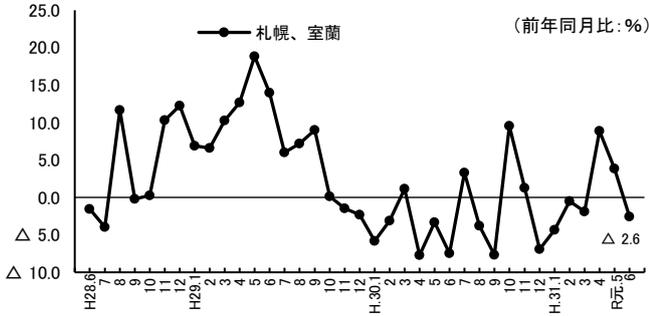


(資料:北海道労働局) - 10 -

■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

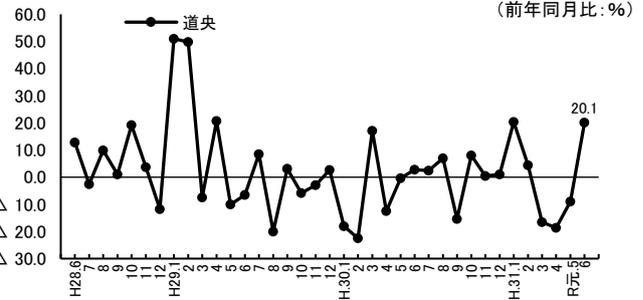
3か月ぶりに前年を下回った



(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

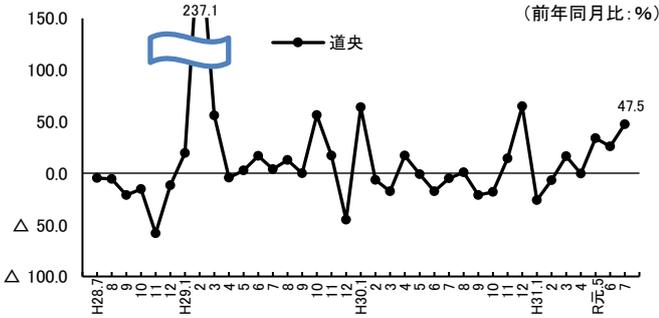
4か月ぶりに前年を上回った



※町村を除く (資料: 国土交通省)

◆公共工事請負金額 (7月)

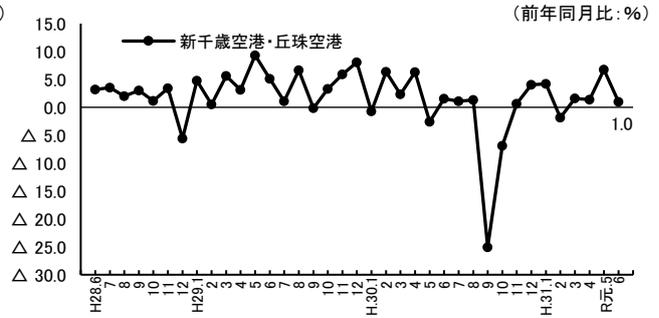
3か月連続で前年を上回った



(資料: 北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

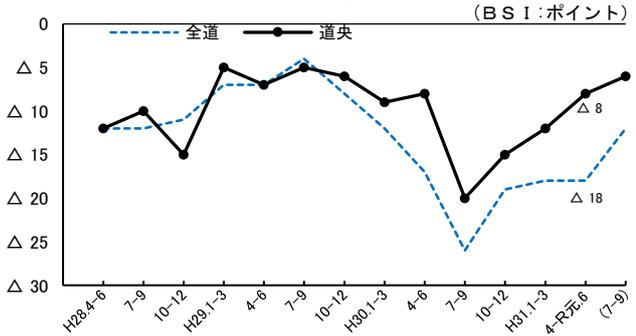
4か月連続で前年を上回った



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した

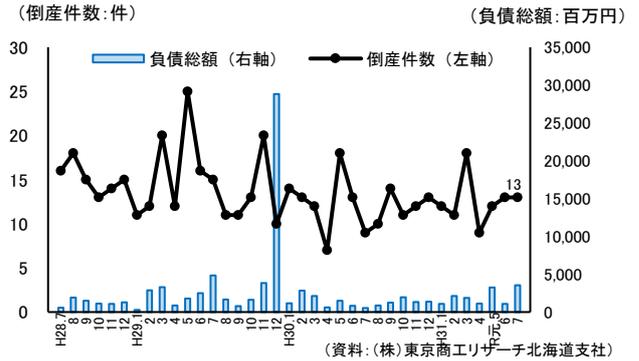


※最新期()は見通し

(資料: 北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

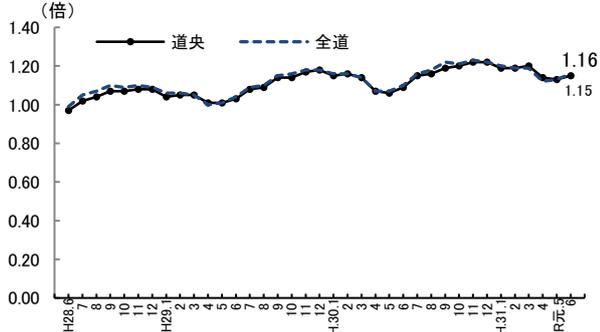
10億円以上の大型倒産が1件発生した



(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

◆有効求人倍率(常用) (6月)

112か月連続で前年を上回った

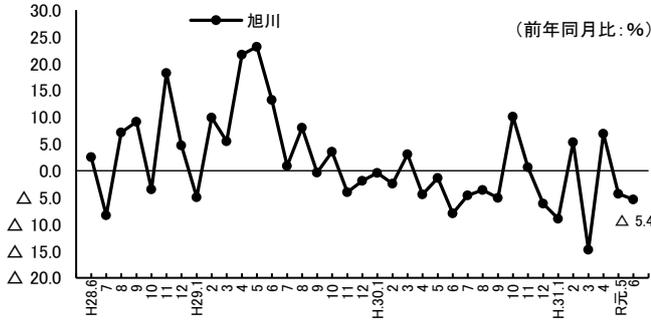


(資料: 北海道労働局)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

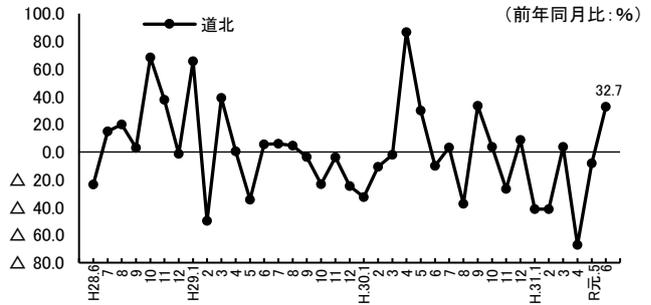
2か月連続で前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

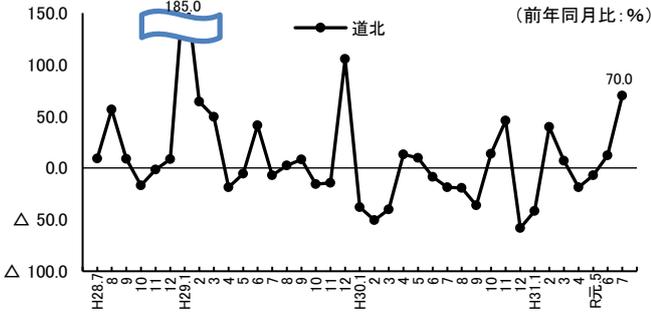
3か月ぶりに前年を上回った



※町村を除く (資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額 (7月)

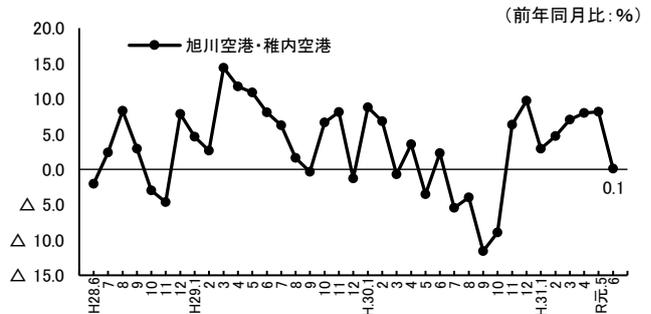
2か月連続で前年を上回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

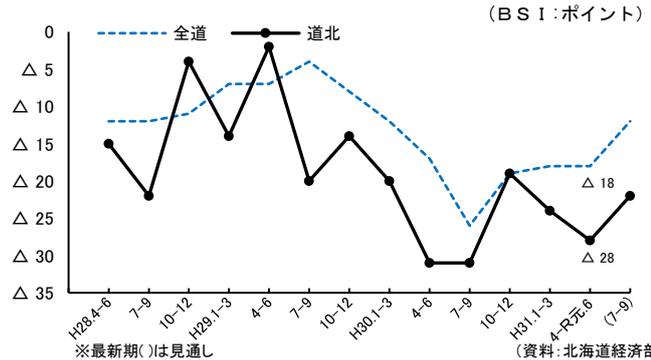
8か月連続で前年を上回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

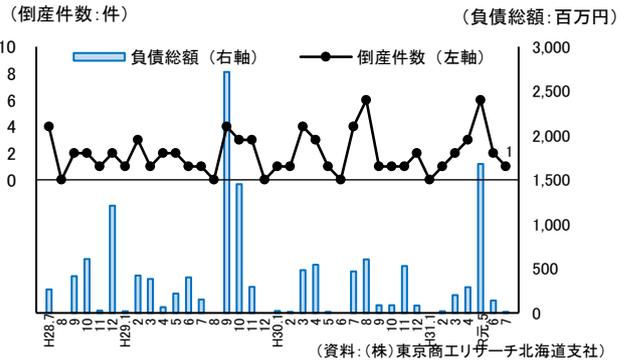
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



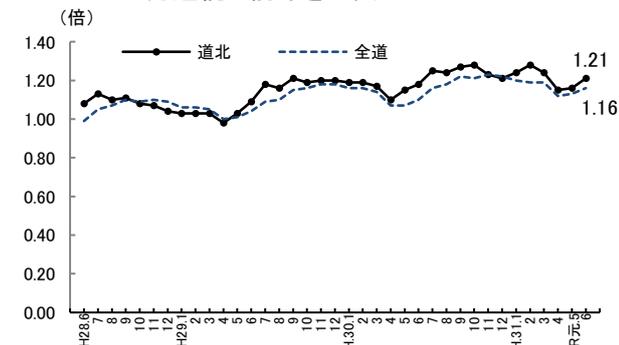
◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用) (6月)

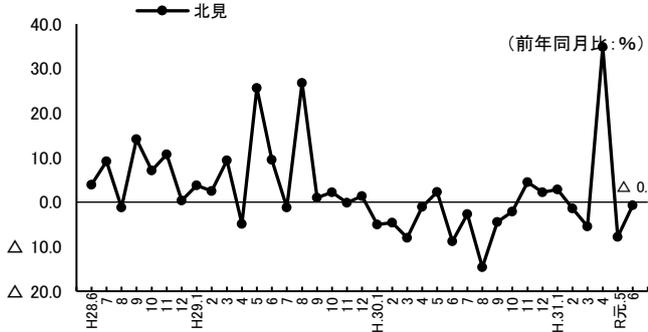
27か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

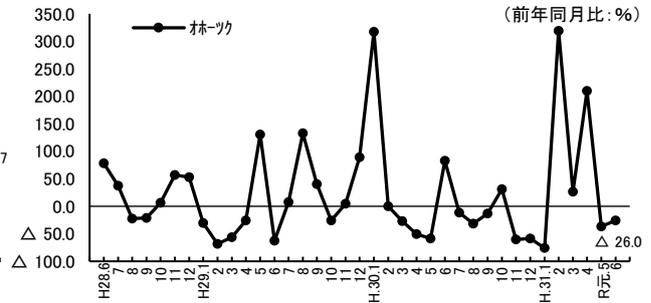
2か月連続で前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

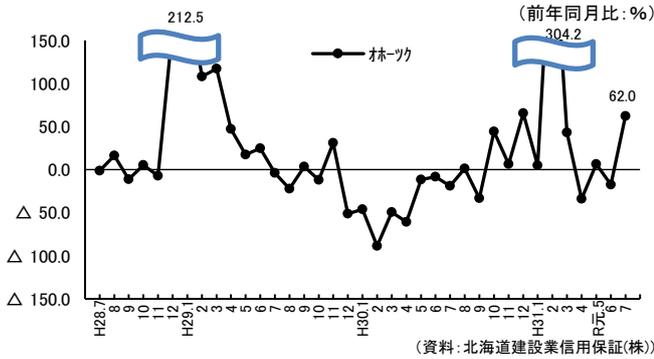
2か月連続で前年を下回った



※町村を除く (資料:国土交通省)

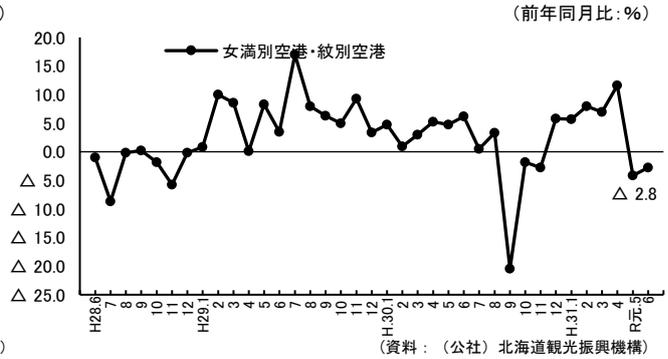
◆公共工事請負金額 (7月)

2か月ぶりに前年を上回った



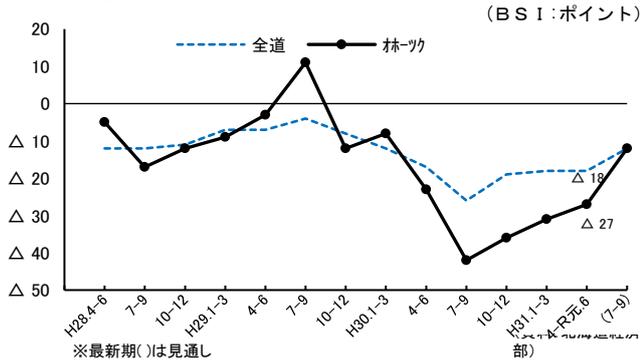
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

2か月連続で前年を下回った



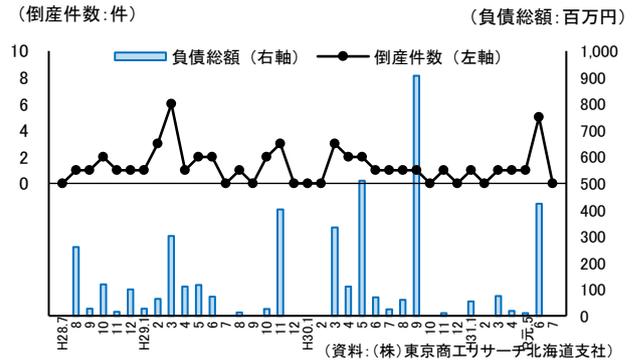
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した



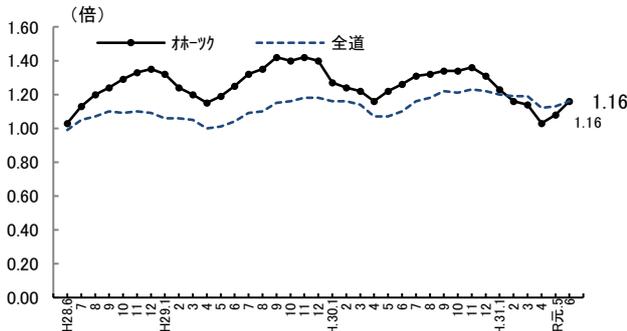
◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用) (6月)

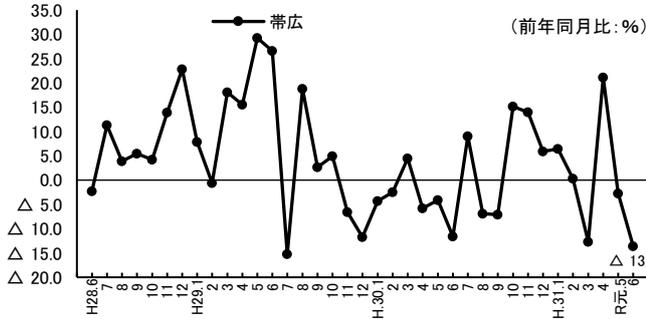
12か月連続で前年を下回った



■十勝地域

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

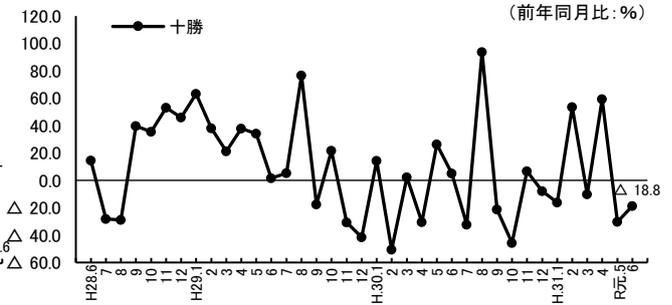
2か月連続で前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

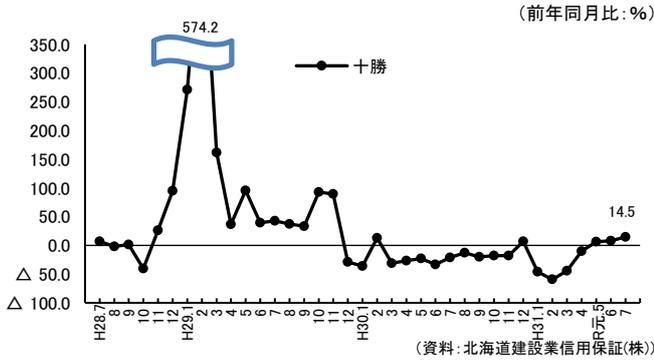
2か月連続で前年を下回った



※町村を除く (資料:国土交通省)

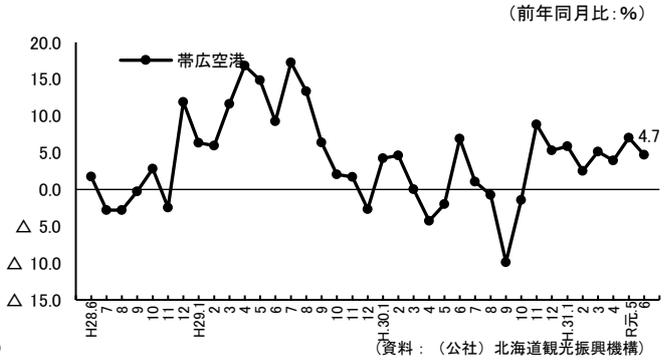
◆公共工事請負金額 (7月)

3か月連続で前年を上回った



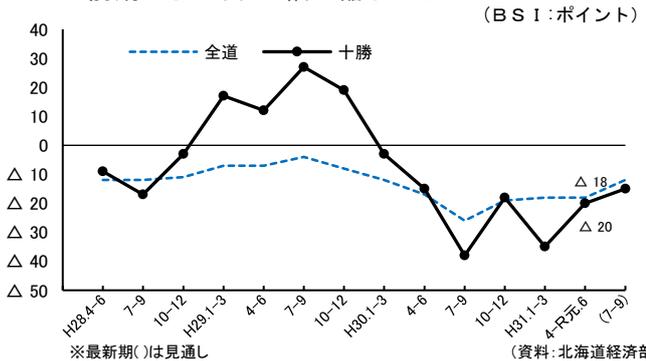
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

8か月連続で前年を上回った



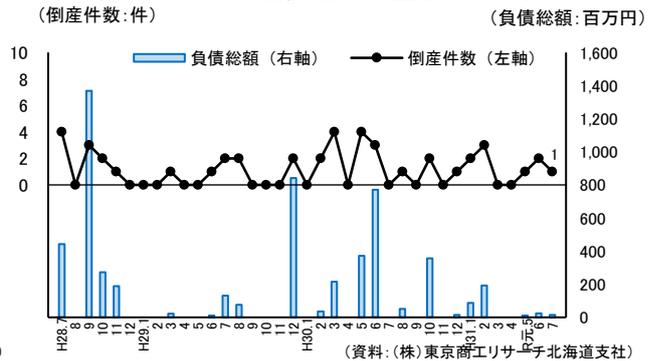
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した



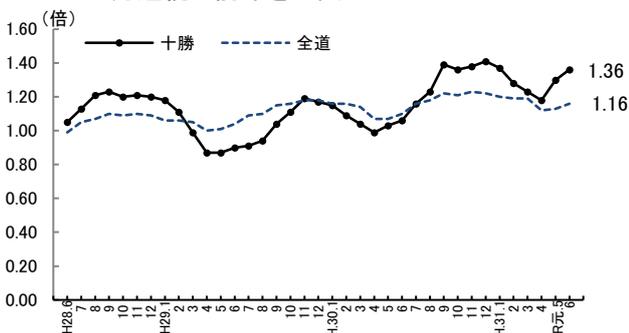
◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用) (6月)

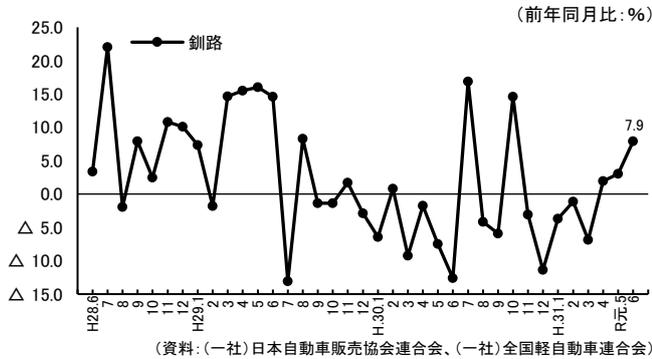
16か月連続で前年を上回った



釧路・根室地域

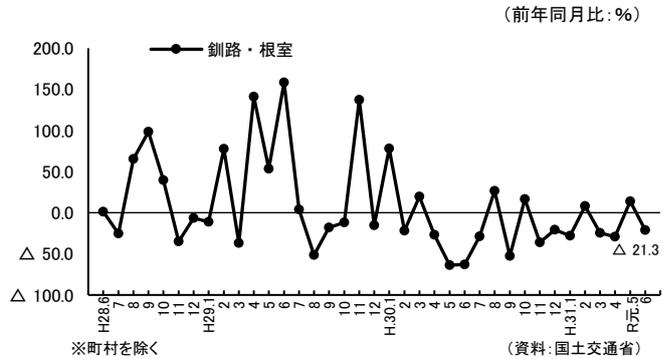
◆新車登録台数(乗用車) (6月)

3か月連続で前年を上回った



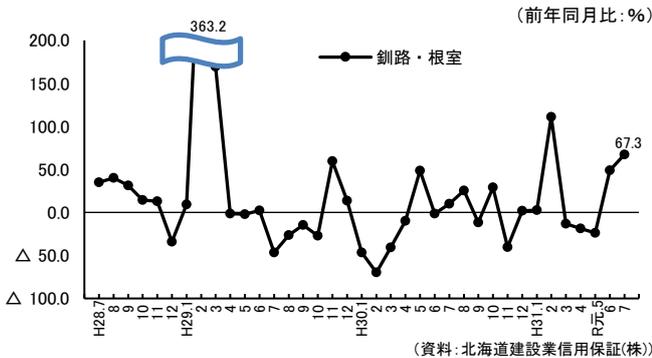
◆新設住宅着工戸数 (6月)

2か月ぶりに前年を下回った



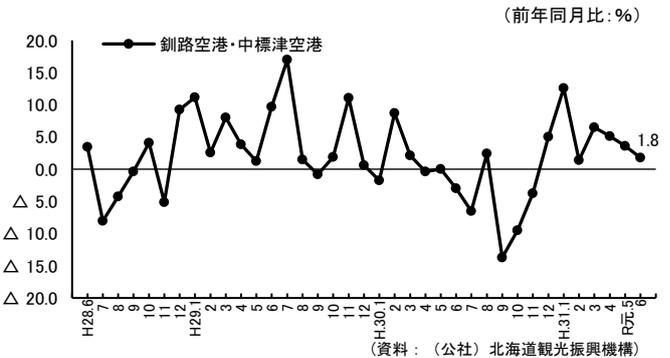
◆公共工事請負金額 (7月)

2か月連続で前年を上回った



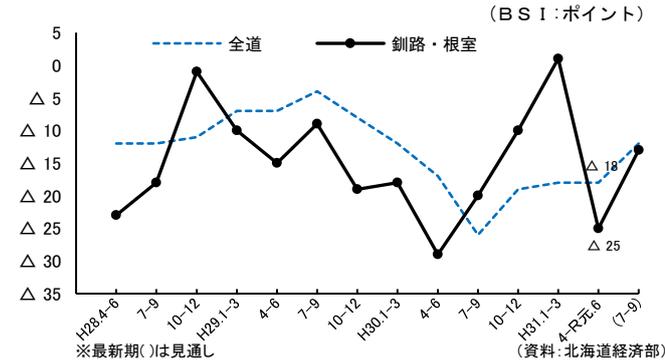
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

7か月連続で前年を上回った



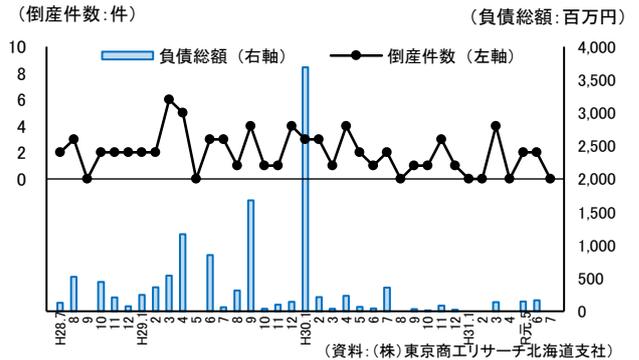
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期プラスからマイナスに転換した



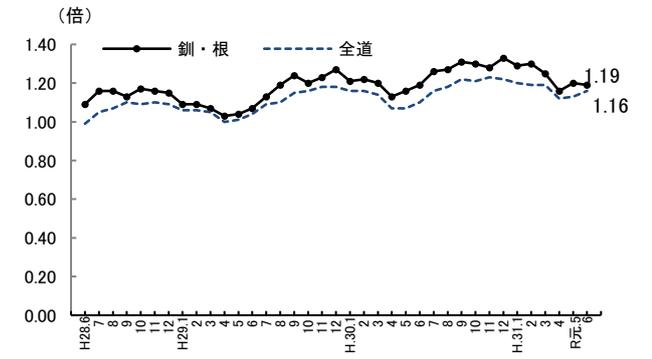
◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用) (6月)

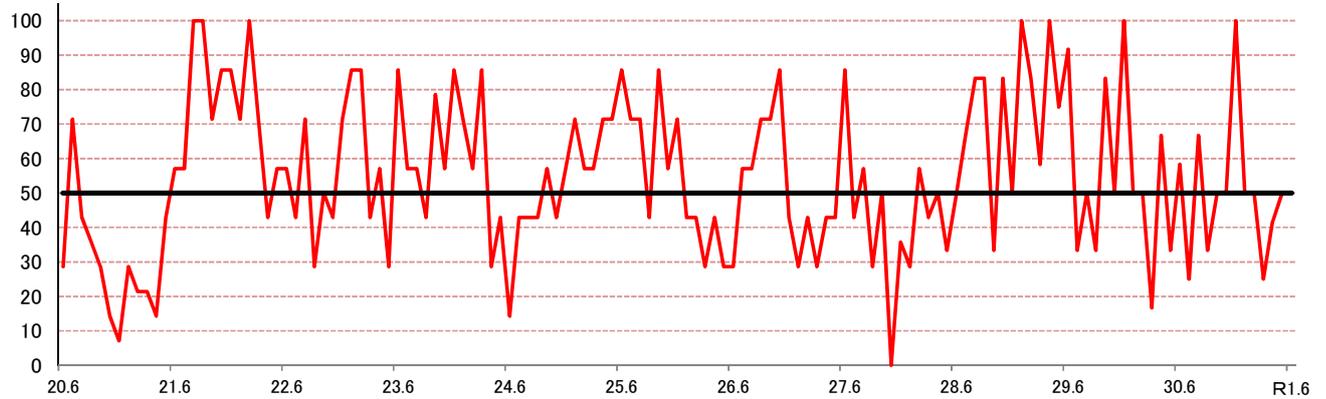
23か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名	30/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	2月	3月	4月	R/5月	6月
先行													
新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	+
生産指数(生産財)	+	-	-	-	-	-	+	-	+	-	-	r+	p-
行													
新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	+	+	+
新設住宅着工戸数	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+
系													
企業倒産件数(逆サイクル)	-	-	+	+	+	-	+	-	+	+	+	-	-
企業業況判断D.I.	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
列													
拡張系列数	3	0	3	1	4	2	5	2	4	2	4	5	5
採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
先行指数	42.9	0.0	42.9	14.3	57.1	28.6	57.1	28.6	57.1	28.6	57.1	r71.4	p71.4
一致													
有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	0	0	+	+	+	+	+	+	+	0	0	+	+
生産指数(鉱工業)	+	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	r-	p-
出荷指数(生産財)	-	-	-	-	-	-	+	-	+	-	-	r-	p-
百貨店販売額(既存店)	+	-	+	-	+	+	+	+	-	+	-	r+	p-
着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-	+
系													
輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	+	+	-	+	-	-	-	+	r+	p+
列													
拡張系列数	3.5	1.5	4	2	3	3	6	3	3	1.5	2.5	3	3
採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一致指数	58.3	25.0	66.7	33.3	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	25.0	41.7	r50.0	p50.0
遅行													
常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-
完全失業率(逆サイクル)	-	0	0	0	-	-	-	+	+	+	-	-	-
消費者物価指数(総合)	-	+	+	+	+	-	-	-	-	0	+	+	0
家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
系													
生産指数(資本財)	+	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	r-	p-
列													
拡張系列数	2	3.5	2.5	1.5	2	1	2	4	4	3.5	2	2	1.5
採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	40.0	70.0	50.0	30.0	40.0	20.0	40.0	80.0	80.0	70.0	r40.0	r40.0	p37.5

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
令和元年8月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>